

1. 職種及び採用予定人員

- ①独立行政法人国立博物館の研究職員（東洋工芸分野）・・・1名
- ②独立行政法人国立博物館の研究職員（日本工芸分野）・・・1名
- ③独立行政法人国立博物館の研究職員（博物館経営学—ミュージアムマネジメント）・・・1名

2. 勤務場所

東京国立博物館、京都国立博物館、奈良国立博物館及び九州国立博物館各博物館のいずれかにおいて勤務することとなります。なお、採用当初(平成18年7月)は下記のとおり勤務となります。

- ①東洋工芸分野・・・東京国立博物館での勤務となります。
- ②日本工芸分野・・・東京国立博物館での勤務となります。
- ③博物館経営学—ミュージアムマネジメント・・・九州国立博物館での勤務となります。

3. 職務内容

①東洋工芸分野

東洋美術工芸の研究と博物館の諸業務に携わります。東京国立博物館での職務内容は、中国・朝鮮半島を中心とする東洋工芸に関する調査研究、文化財の管理・展示・修理および特別展に関連する業務です。必要に応じて他の分野の研究と業務にも携わっていただきます。

②日本工芸分野

日本工芸史の研究と博物館の諸業務に携わります。東京国立博物館での職務内容は、刀剣、武器・武具を中心とする日本工芸に関する調査研究、文化財の管理・展示・修理および特別展に関連する業務です。必要に応じて他の分野の研究と業務にも携わっていただきます。

③博物館経営学—ミュージアムマネジメント

現在、喫緊の課題である博物館経営に関する研究と博物館の諸業務に携わります。九州国立博物館での職務内容は、博物館経営に向けての調査研究、文化財の管理・展示・修理および特別展に関連する業務です。必要に応じて他の分野の研究と業務にも携わっていただきます。

4. 応募資格

①東洋工芸分野

- (1) 大学院で中国もしくは朝鮮半島の美術史もしくは工芸史を専攻した者（大学院修士課程（博士前期課程）修了者）、又はこれと同等以上の研究・実務能力を有する者
- (2) 中国語もしくは韓国語および英語について研究に支障が無い程度の能力を有する者
- (3) 平成18年7月1日現在で25歳以上かつ35歳以下の者

②日本工芸分野

- (1) 大学院で日本美術史、日本工芸史を専攻した者（大学院修士課程（博士前期課程）修了者）、又はこれと同等以上の研究・実務能力を有する者で、刀剣、武器・武具の取り扱いに一定の経験を有するもの。
- (2) 英語について研究に支障が無い程度の能力を有する者
- (3) 平成18年7月1日現在で25歳以上かつ35歳以下の者

③博物館経営学—ミュージアムマネジメント

- (1) 大学院で美術史、考古学、文献史学など博物館業務に密接な関わりをもつ領域を専攻し、なおかつ博物館経営に関わる諸業務に強い関心と実務能力を有する者
- (2) おもに英語について諸外国の研究者との交流に支障が無い程度の能力を有する者
- (3) 平成18年7月1日現在で25歳以上かつ35歳以下の者

## 5. 選考方法

- (1) 第一次選考 研究業績、事業実績（参加事業等）、論文、著書等により書類選考を行います。
- (2) 第二次選考 第一次選考合格者に対して、面接試験及び筆記試験（小論文及び語学（1. 東洋工芸分野・・・中国語もしくは韓国語および英語 2. 日本工芸分野・・・中国語、韓国語、英語の中からいずれか一つを選択 3. 博物館経営学・・・中国語、韓国語、英語の中からいずれか一つを選択））を実施します。  
（＊第二次選考の日時及び場所等の詳細については、別途連絡します。）

## 6. 提出書類（提出書類は返却しませんが、当法人の文書管理規程に基づき厳正に管理いたします。）

- (1) 履歴書（自筆押印、写真貼付：様式1 A4片面2枚で提出すること。）
- (2) 研究業績・教育実績（参加事業等）調書（ワープロ可：様式2）
- (3) 成績証明書（大学学部以上の全て。外国語による場合は日本語訳を添付すること）
- (4) 主な研究業績（論文等）の別刷 3点以内  
※1 冊子不可 すべてA4片面コピー（クリップ止め）にて提出すること。  
※2 修士論文又は博士論文のコピーを提出する場合には、日本語で4,000字以内のレジュメを添付すること。
- (5) 採用された場合の今後の研究及び展示の抱負（日本語で1,000字程度）
- (6) 推薦者のある方は推薦書（参照）の提出をお願いします

## 7. 採用予定者の決定及び発表

第一次選考及び第二次選考の結果を総合的に判断し、採用予定者を決定します。

各選考結果は、第一次選考については18年6月上旬、第二次選考については平成18年6月下旬までに、合否にかかわらず本人宛に文書で通知します。

## 8. 採用予定日 平成18年7月1日

## 9. 勤務条件及び給与

- (1) 勤務条件 独立行政法人国立博物館就業規程等によります。
- (2) 給与 独立行政法人国立博物館職員給与規程等の定めにより決定します。  
（＊上記の規程については独立行政法人国立博物館のホームページを参照願います。  
独立行政法人国立博物館HPアドレス：<http://www.natmus.jp/kisoku/>）

## 10. 応募手続き等

- (1) 選考案内は東京国立博物館のホームページからダウンロードが出来ます。  
東京国立博物館 HP アドレス：<http://www.tnm.jp/>
- (2) 応募締切 平成18年5月9日（火）午後5時必着  
＊ 応募書類は、封筒に「研究職員応募書類在中」と朱書きし、送付（受領の確認できるもの）又は持参により提出してください。
- (3) 複数分野に応募される場合は、分野ごとに応募書類一式を作成、送付してください。
- (4) 提出先・ 独立行政法人国立博物館本部事務局総務課人事担当  
問合せ先 〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9  
TEL 03（3822）2438

東洋工芸分野 ・ 日本工芸分野 ・ 博物館経営学 （応募分野1つに○をすること。）  
(別紙様式1)

履 歴 書

写真貼付欄  
(3×4cm)  
最近3月以内に撮影のもの  
上半身、正面向きの写真  
写真裏面に氏名を記入すること

|                                     |                        |
|-------------------------------------|------------------------|
| 平成 年 月 日 作成                         |                        |
| ふりがな                                | 性 別                    |
| 氏 名                                 | 男 ・ 女                  |
| 生年月日<br>昭和 年 月 日生 ( 歳)              | 本籍地 都 道 府 県            |
| ふりがな                                | 電 話 番 号                |
| 現 住 所<br>(〒 — )                     | 市外局番 ( )<br>—<br>呼 出 方 |
| ふりがな                                | 電 話 番 号                |
| 連絡先 (現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入)<br>(〒 — ) | 市外局番 ( )<br>—<br>呼 出 方 |

| 区分  | 年 | 月 | 学 歴 ・ 職 歴 等 |
|-----|---|---|-------------|
| 学 歴 | 年 | 月 | 高 等 学 校 卒 業 |
|     | 年 | 月 |             |
|     | 年 | 月 |             |
|     | 年 | 月 |             |
|     | 年 | 月 |             |
|     | 年 | 月 |             |
|     | 年 | 月 |             |
|     | 年 | 月 |             |
|     | 年 | 月 |             |
| 職 歴 | 年 | 月 |             |
|     | 年 | 月 |             |
|     | 年 | 月 |             |
|     | 年 | 月 |             |
|     | 年 | 月 |             |
| 賞 罰 | 年 | 月 |             |
|     | 年 | 月 |             |
|     | 年 | 月 |             |

|                                |   |   |       |
|--------------------------------|---|---|-------|
| 区分                             | 年 | 月 | 資 格 等 |
| 資<br>格<br><br>学<br>位<br>含<br>む | 年 | 月 |       |
|                                | 年 | 月 |       |
|                                | 年 | 月 |       |
|                                | 年 | 月 |       |
|                                | 年 | 月 |       |

現在の勤務先

|                         |  |
|-------------------------|--|
| ふりがな                    |  |
| 名 称                     |  |
| 所在地<br>(〒      -      ) |  |
| Tel (      )      -     |  |
| 職種及び職務内容（具体的に）          |  |
|                         |  |

自己紹介欄

|                                                                         |         |
|-------------------------------------------------------------------------|---------|
| 志望動機                                                                    |         |
| <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> |         |
| 専攻（専門分野）及び所属学会等                                                         |         |
| 主要論文等テーマ（応募時添付のもの）                                                      |         |
| 語学                                                                      | 他の外国語   |
| 英語（ 1   2   3   4   5   ）                                               |         |
| 健康状態                                                                    | 趣味・スポーツ |
| その他                                                                     |         |
| メールアドレス                                                                 |         |

## 履 歴 書 記 入 要 項

- (1) 万年筆又はボールペン（黒色又は青色）で記入すること。
- (2) 年は元号で、数字はアラビア数字を用い、文字は楷書により正確に書くこと。
- (3) 写真の裏面には氏名を記入して、履歴書に貼付すること。
- (4) 職歴欄にはすべての職歴を記入し、非常勤の職の場合は週あたりの勤務時間数を明記すること。
- (5) 語学欄は下表を参考にして、本人の語学力に最も近いと思われる番号を○で囲むこと。
- (6) 他の外国語欄も下表に準じて記入すること。

|       |                                                                                  |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 1（なし） | ほとんど学習したことがない。一切忘れてしまっている。                                                       |
| 2（入門） | 高校までの英語授業や大学での第2外国語で履修したことはあるが、不得意で、以降ほとんど使用していない。<br>また、最近、学習を始めたばかりである。        |
| 3（初級） | 外国への出張や旅行、又は、外国人の来訪の際など、必要に迫られれば、自分の身の回りの会話は努力して使っている。一応、ある程度定期的に自分で学習する努力をしている。 |
| 4（中級） | ある程度仕事上の必要があれば、資料を使って仕事の概要を説明できる。一応の電話等の対応ができる。相当期間にわたり、学習を継続してきている。             |
| 5（上級） | 外国語での書簡を読んで、返事の下書きを書いたり、外国語による会議に出席して、その概要をまとめたりすることができる。                        |

例            英語（1 2 3 ④ 5）            他の外国語    （独語    4）

- (7) 英語検定、中国語検定、TOEFL、TOEIC等の語学検定を受験している場合には、資格取得の年月、試験の点数等を語学欄、他の外国語欄に記入すること。

例            英検準1級（H6）            TOEFL 450点（H8）

- (8) ボランティア経験等はその他欄に記入すること。
- (9) メールにより連絡・通知等をする場合も考えられるため、メールアドレスを持っている場合は、記入願います。

東洋工芸分野 ・ 日本工芸分野 ・ 博物館経営学 (応募分野1つに○をすること。)

(別紙様式2)

## 研究業績・教育事業実績（参加実績）調書

| ○印 | テーマ | 内 容 | 発表等の時期及び方法 | 共同研究者 |
|----|-----|-----|------------|-------|
|    |     |     |            |       |

## 記入要領

- 1 研究業績及び教育事業実績の記入は次の順序とし、かつ、同一項目のものについては年代順に記入する。
- |        |          |            |        |       |
|--------|----------|------------|--------|-------|
| イ 学会誌  | ロ 公刊図書   | ハ 機関紙・内部報告 | ニ 口頭発表 | ホ 展観等 |
| ヘ 研究調査 | ト 教育事業実績 | チ その他      |        |       |
- 2 研究テーマ等で代表的なものに○印をつける。
- 3 共同研究者の欄は主たる研究者に○印をつける。

(参 考)

推 薦 書

平成 年 月 日

独立行政法人国立博物館理事長 様

機関名等

職・氏名

印

下 記 の と お り 候 補 者 を 推 薦 し ま す 。

|         |             |            |
|---------|-------------|------------|
| 候 補 者   | ふりがな<br>氏 名 | ( 年 月 日生 ) |
|         | 現 職         |            |
| 推 薦 理 由 |             |            |
| 備 考     |             |            |